

第3学年

[illegible]

第5学年

		A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
	【知・技】	テスト95点以上 もの性質や規則性を正しく理解し、目的に応じて器具や機器を適切に選択しながら調べ、過程や結果を的確に記録する技能を身に付けている。	テスト65点以上 もの性質や規則性を理解し、目的に応じて器具や機器を選択しながら調べ、過程や結果を適切に記録する技能を身に付けている。	テスト、ノート、発言、発表等
	【思・判・表】	テスト95点以上 自然の事物や現象について、観察、実験の方法を考え、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、問題解決している。	テスト65点以上 自然の事物や現象について観察、実験を行い、予想や仮説から解決の方法を考え、問題解決している。	テスト、ノート、発言、発表等
	【態】	粘り強く問題を解決しようとして努力し、他者と関わりながら、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	粘り強く問題を解決しようとして努力し、他者と関わりながら、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	ノート、発言、発表等
月	單元名・教科書・時数・指導目標	指導過程		
4-5	1 天気と植物①天気の変化 (指導時間4～5月・9時間) 雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を探る活動をを通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●天気の変化は、雲の量や動きと関係があること。 ●天気の変化は、気象などの気象情報を用いて予想できること。 ●天気の変化の仕方について追究する中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	【知・技】 天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく使いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。天気の変化は、気象などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 【思・判・表】 天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 【態】 天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
5-6	2 生命のつながり①植物の発芽と成長 (指導時間5～6月・11時間) 発芽と成長の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の発芽、成長とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●植物は、種子の中の養分を基に生長すること。 ●植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していること。 ●植物の成長には、日光や肥料などが関係していること。 ●植物の育ち方について追究する中で、植物の発芽、成長とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	【知・技】 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。植物の発芽について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく使いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。植物の成長は、日光や肥料などが関係していることを理解している。 【思・判・表】 植物の発芽について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。植物の成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。植物の成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】 植物の発芽についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。植物の発芽と成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
6-7	3 生命のつながり②メダカのたんじょう (指導時間6～7月・8時間) 魚が育つ中で、卵の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発芽と成長を探る活動をを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●メダカは卵から、生まれた卵は日がつたれて中の子うがが変化してこえること。 ●動物の発芽と成長について追究する中で、動物の発芽と成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	【知・技】 卵には胚盤があることを理解している。魚の発芽と成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく使いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。生まれた卵は日がつたれて中の子うがが変化してこえることを理解している。 【思・判・表】 魚の発芽や成長について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。魚の発芽や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】 魚の発芽や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。魚の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
7	4 天気と植物②台風と防災 (指導時間7月・4時間) 雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を探る活動をを通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●天気の変化は、気象などの気象情報を用いて予想できること。 ●天気の変化の仕方について追究する中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとを関係について予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	【知・技】 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく使いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。天気の変化は気象などの気象情報を用いて予想できることを理解している。台風の接近した天気の変化の割合が一定ではないこと、また、台風がもたらす降雨は長時間に多量になることを理解している。 【思・判・表】 台風が近づいたときの天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】 台風についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。台風について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
9	5 生命のつながり③植物の実や種子の育ち方 (指導時間9月・7時間) 実の育ちの様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の結実とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●花にはしべやめしめなどがあり、花粉がめしめの先に付くこと。 ●植物の育ち方について追究する中で、植物の結実とその条件と実の育ちについての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	【知・技】 植物の結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく使いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。花にはおしべやめしめなどがあり、花粉がめしめの先に付くことめしめのものが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 【思・判・表】 植物の結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】 植物の結実についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。植物の結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
9-10	6 流れる水のはたらきと土地の変化 (指導時間9～10月・12時間) 流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を探る活動をを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●水は地表には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。 ●川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。 ●川の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の崩れが起きることがあること。 ●流れる水の働きについて追究する中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	【知・技】 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。川の降り方によって、流れる水の量や速さは変わり、増水により土地の崩れが起きることがあることを理解している。流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく使いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 【思・判・表】 流れる水の働きと土地の変化について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】 流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
10-11	7 もののとけ方 (指導時間10～11月・12時間) 物が水に溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、物の溶け方の規則性を探る活動をを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●物が水に溶けたとき、水と物を合わせた重さは変わらないこと。 ●物が水に溶ける量には、限度があること。 ●物が溶け出す量はその物の温度や、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。 ●物の溶け方について追究する中で、物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	【知・技】 物が水に溶けても、水と物を合わせた重さは変わらないことを理解している。物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。物が水に溶ける量は、水の温度や、溶ける物によって違うことを理解している。物の溶け方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく使いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。溶ける物や出ることができることを理解している。 【思・判・表】 物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。物の溶け方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 【態】 物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
11-12	8 ふりこ性質 (指導時間11～12月・9時間) 振り子1往復する時間に着目して、おもりや重さや振り子の長さなどの条件を制御しながら、振り子の運動の規則性を探る活動をを通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●振り子1往復する時間は、おもりの重さなどによって変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解している。 ●振り子の運動の規則性について追究する中で、振り子1往復する時間に関係する条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	【知・技】 振り子の運動の規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく使いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。振り子1往復する時間は、おもりの重さなどによって変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解している。 【思・判・表】 振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。振り子の運動の規則性について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】 振り子の運動の規則性についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
1-2	9 電磁石の性質 (指導時間1～2月・11時間) 電流の大きさや向き、コイルの巻数などに着目して、これらの条件を制御しながら、電流が流れる磁場を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●電流が流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極性も変わる。 ●電磁石の強さは、電流の大きさや巻線の巻数によって変わる。 ●電流が流れる向きについて追究する中で、電流が流れる磁場の向きに関係する条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	【知・技】 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあることを理解している。電流の向きが変わると、電磁石の極性も変わることを理解している。電磁石がつくる磁場について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく使いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。電流の大きさや巻線の巻数によって変わることを理解している。 【思・判・表】 電磁石がつくる磁場について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。電磁石がつくる磁場について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】 電流が流れる磁場についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。電磁石がつくる磁場について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
2-3	10 生命のつながり④人のたんじょう (指導時間2～3月・8時間) 人の発芽と成長についての資料を活用する中で、胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発芽や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●人は、母体内で成長して生まれること。 ●動物の発芽や成長について追究する中で、動物の発芽や成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。	【知・技】 人の発芽や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく使いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 【思・判・表】 人の発芽や成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。人の発芽や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】 人の発芽や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。人の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		

第6学年

		8+10満足できる	8+10おむね満足できる	評価方法
	【知・技】	ある食品上 のものの性質や機能性を理解し、目的に応じて器具や機器を 選択しながら調べ、協働して、過程や結果を工夫しながら 適切に記録したりまとめたりする技能を身に付けている。	7の点以上 ものの性質や機能性を理解し、目 的に応じて器具や機器を選択しな がら調べ、過程や結果を適切に記 録する技能を身に付けている。	ワークシート ・ノート
	【思・判・表】	自然の事物・現象についての観察、実験を行い、既習事項と 身の周りの生活と比べたり整理させたりしながら考えを共 有し、実用な結論を導き、問題解決をしている。	自然の事物・現象についての観察、 実験を行い、より実用な結論を導 き問題解決している。	ノート ・発表
	【語】	主観的に問題を解決するとともに、他者と関わりながら、 既習事項や身の周りの生活と比べながら学習や生活に生か そうとしている。	主観的に問題を解決するととも に、他者と関わりながら、学んだ ことを学習や生活に生かそうとし ている。	
4-5	3 身の周りの生活と電気 (指導時間4～5月・9時間) 空気の変化に着目して、物の電気力を多面的に調べる活動 を通して、身の周りの仕組みについての理解を深め、観察、実験 などに関する技能を身に付けるとともに、主により実用な考え をつくりだし方や主体的に問題解決しようとする態度を養 うことができるようにする。 ●観察や実験するときには、空気中の電気が使われて二酸化 炭素ができること。 ●電気の仕組みについて学習の中で、物が燃えたときの空 気の変化について、より実用な考えをつくりだし、表現する こと。	評価基準 [知・技] 燃焼の仕組みについて、観察、実験などの目的に応じて、 器具や機器などを選択して、正しく強いながら調べ、それ らの過程や得られた結果を適切に記録している。被験物を 調べるときには、安全な実験が保たれて二酸化炭素がで きることを理解している。 [思・判・表] 燃焼の仕組みについて、問題を思いだし、予想や仮説を基 に、解決の方法を着想し、表現するなどして問題解決して いる。燃焼の仕組みについて、観察、実験などを行い、物 が燃えたときの空気の変化について、より実用な考えをつ くりだし、表現するなどして問題解決している。 [語] 燃焼の仕組みについての事物・現象に進んで関わり、粘 り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。燃 焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうと している。		
5	4 植物の体のつくりとよみと光との関わり (指導時間5月・5時間) 植物の体のつくりと葉で養分をつくる働きに着目して、生命 を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、植物の体の つくりと働きについての理解を深め、観察、実験などに関 する技能を身に付けるとともに、主により実用な考えをつ くりだし方や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しよう とする態度を養うことができるようにする。 ●植物を養うことができるようにする。 ●植物の体には光が当たるようになっていること。 ●植物の体のつくりと働きについて学習の中で、体のつ くり及び葉で養分をつくる働きについて、より実用な考えをつ くりだし、表現すること。	[知・技] 植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などの目的 に応じて、器具や機器などを選択して、正しく強いながら 調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録してい る。植物の体のつくりと働きについて、観察、実験などを行 い、体のつくりと葉で養分をつくる働きについて、より実 用な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決してい る。 [思・判・表] 植物の体のつくりと働きについて問題を思いだし、予想や 仮説を基に、解決の方法を着想し、表現するなどして問題 解決している。植物の体のつくりと働きについて、観察、 実験などを行い、体のつくりと葉で養分をつくる働きにつ いて、より実用な考えをつくりだし、表現するなどして問 題解決している。 [語] 植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関 わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとし ている。植物の体のつくりと働きについて学んだことを学 習や生活に生かそうとしている。		
5-6	5 人やほかの動物の体のつくりとよみと光との関わり (指導時間5～6月・10時間) 体のつくりと呼吸、消化、排泄及び循環の働きに着目して、 生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、人や他 の動物の体のつくりと働きについての理解を深め、観察、実 験などに関する技能を身に付けるとともに、主により実用な 考えをつくりだし方や生命を尊重する態度、主体的に問題解 決しようとする態度を養うことができるようにする。 ●体内に酸素が取り入れられ、体内に二酸化炭素などが出 されていること。 ●食・食物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸 取られなかったものは排泄されること。 ●心臓は、心臓の働きで体内を通り、養分、酸素及び二酸化 炭素などを運んでいること。 ●体内には、生命活動を維持するための様々な臓器があるこ と。 ●人や他の動物の体のつくりと働きについて学習の中で、 体のつくりと呼吸、消化、排泄及び循環の働きについて、 より実用な考えをつくりだし、表現すること。	[知・技] 体内に酸素が取り入れられ、体内に二酸化炭素などが出 されていることを理解している。人や他の動物の体のつくり と働きについて、観察、実験などの目的に応じて、器具 や機器などを選択して、正しく強いながら調べる、それ らの過程や得られた結果を適切に記録している。食・物は、口、 胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかつ たものは排泄されることを理解している。心臓は、心臓の 働きで体内を通り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運 んでいることを理解している。血液は、心臓の働きで体内 を通り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること を理解している。体内には、生命活動を維持するための様 々な臓器があることを理解している。 [思・判・表] 人や他の動物の体のつくりと働きについて、問題を思いだ し、予想や仮説を基に、解決の方法を着想し、表現するな どして問題解決している。人や他の動物の体のつくりと働 きについて、観察、実験などを行い、体のつくりと循環の 働きについて、より実用な考えをつくりだし、表現するな どして問題解決している。 [語] 人や他の動物の体のつくりと働きについての事物・現象に 進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決 しようとしている。人や他の動物の体のつくりと働きにつ いて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。		
6	6 植物の体のつくりとよみと水との関わり (指導時間6月・5時間) 植物の体のつくりと体内の水などの行方に着目して、生命 を維持する働きを多面的に調べる活動を通して、植物の 体のつくりと働きについての理解を深め、観察、実験などに 関する技能を身に付けるとともに、主により実用な考えをつ くりだし方や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しよ うとする態度を養うことができるようにする。 ●根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げ られた水は主に葉から蒸散により排出されること。 ●植物の体のつくりと働きについて学習の中で、体のつ くり、体内の水などの行方について、より実用な考えをつ くりだし、表現すること。	[知・技] 根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げ られた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解し ている。植物の体のつくりと働きについて、観察、実験な どを行い、水の通り道について、より実用な考えをつくり だし、表現するなどして問題解決している。 [思・判・表] 植物の体のつくりと働きについて、問題を思いだし、予想 や仮説を基に、解決の方法を着想し、表現するなどして問 題解決している。植物の体のつくりと働きについて、観 察、実験などを行い、体のつくりと体内の水の行方につ いて、より実用な考えをつくりだし、表現するなどして 問題解決している。 [語] 植物の体のつくりと働きについての事物・現象に進んで関 わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとし ている。植物の体のつくりと働きについて学んだことを学 習や生活に生かそうとしている。		
7	7 生物と地味環境 (指導時間9月・9時間) 生物と水、空気及び食・食物との関わりに着目して、それ らを多面的に調べる活動を通して、生物と持続可能な環境との関 わりについて理解を深め、観察、実験などに関する技能を 身に付けるとともに、主により実用な考えをつくりだし方 や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする 態度を養うことができるようにする。 ●生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生 きていること。 ●生物の周りには、食う食われるという関係があること。 ●生物と環境について学習の中で、生物と環境との関わり について、より実用な考えをつくりだし、表現すること。	[知・技] 生物と周囲の環境について、観察、実験などの目的に応 じて、器具や機器などを選択して、正しく強いながら調 べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。生 物の周りには、食う食われるという関係があることを理解 している。生物は、空気を通して周囲の環境と関わって生 きていることを理解している。生物は、水を通して周囲 の環境と関わって生きていることを理解している。水が循環 していることを理解している。 [思・判・表] 生物と周囲の環境について思いだした問題について、予想 や仮説を基に、解決の方法を着想し、表現するなどして問 題解決している。生物と周囲の環境について、観察、実 験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、生物と周 囲の環境との関わりについて、より実用な考えをつくりだ し、表現するなどして問題解決している。 [語] 生物と周囲の環境についての事物・現象に進んで関わり、 粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしてい る。生物と周囲の環境について学んだことを学習や生活に 生かそうとしている。		
9	8 月と太陽 (指導時間9月・7時間) 月と太陽の位置に着目して、これらの位置関係を多面的に調 べる活動を通して、月の形の見え方と月と太陽の位置関係 についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身 に付けるとともに、主により実用な考えをつくりだし方や 主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるよ うにする。 ●月の形は変化する。月と太陽があること。また、月の形の見 え方は、太陽と月の位置関係によって変化する。 ●月の形の見え方について学習の中で、月の位置の形と太 陽の位置との関係について、より実用な考えをつくりだし 、表現すること。	[知・技] 月の形の見え方について、観察、実験などの目的に応じて、 器具や機器などを選択して、正しく強いながら調べ、それ らの過程や得られた結果を適切に記録している。月の形は 変化する。月と太陽があること。また、月の形の見え方は、 太陽と月の位置関係によって変化する。 [思・判・表] 月の形の見え方について思いだした問題について、予想や 仮説を基に、解決の方法を着想し、表現するなどして問題 解決している。月の形の見え方について、観察、実験など を行い、得られた結果を基に考察する中で、月の位置や太 陽と太陽の位置との関係について、より実用な考えをつ くりだし、表現するなどして問題解決している。 [語] 月の形の見え方についての事物・現象に進んで関わり、粘 り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生か そうとしている。月の形の見え方について学んだことを学 習や生活に生かそうとしている。		
9-10	ア 水より油の性質 (指導時間9～10月・11時間) 水に比べて油に着目して、それらによる水溶液の性質や 油の濃いを多面的に調べる活動を通して、水溶液の性質や 油の濃いについての理解を深め、観察、実験などに関する技 能を身に付けるとともに、主により実用な考えをつくりだし 方や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができ るようにする。 ●水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあるこ と。 ●水溶液には、気体が溶けているものがあること。 ●水溶液には、金属を溶かせるものがあること。 ●水溶液の性質や働きについて学習の中で、溶けているも のによる性質や働きの違いについて、より実用な考えをつ くりだし、表現すること。	[知・技] 水溶液の性質や働きについて、観察、実験などの目的に応 じて、器具や機器などを選択して、正しく強いながら調 べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解して いる。水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがある ことを理解している。水溶液には、金属を溶かせるもの があることを理解している。 [思・判・表] 水溶液の性質や働きについて、観察、実験などを行い、溶 けているものによる性質や働きの違いについて、より実 用な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決してい る。水溶液の性質や働きについて、問題を思いだし、予想 や仮説を基に、解決の方法を着想し、表現するなどして問 題解決している。土地のつくりと変について、観察、実 験などを行い、得られた結果を基に考察する中で、土地 のき方について、より実用な考えをつくりだし、表現す るなどして問題解決している。 [語] 水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関 わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとし ている。水溶液の性質や働きについて学んだことを学習 や生活に生かそうとしている。水溶液の性質や働きにつ いての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関 わりながら問題解決しようとしている。		
9-11	8 土地のつくりと変化 (指導時間10～11月・12時間) 土地やその上に含まれている物に着目して、土地のつくりや でき方を多面的に調べる活動を通して、土地のつくりや変 化についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を 身に付けるとともに、主により実用な考えをつくりだし方 や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができ るようにする。 ●土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつ つて広がっているものがあること。また、陸には水が含 まれているものがあること。 ●土地は、流れる水の働きや火山の噴火によって変化するこ と。 ●土地は、火山の噴火や地震によって変化するこ と。 ●土地のつくりと変化について学習の中で、土地のつ くりやでき方について、より実用な考えをつくりだし、表現 すること。	[知・技] 土地は、礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつ つて広がっているものがあること。また、陸には水が 含まれているものがあることを理解している。土地のつ くりや変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具 や機器などを選択して、正しく強いながら調べる、それ らの過程や得られた結果を適切に記録している。地層は、流れ る水の働きによってできることを理解している。地層は、火 山の噴火によってできることを理解している。土地は、火 山の噴火や地震によって変化するこを理解している。土 地は、火山の噴火や地震によって変化するこを理解して いる。 [思・判・表] 土地のつくりと変化について問題を思いだし、予想や仮説 を基に、解決の方法を着想し、表現するなどして問題解 決している。土地のつくりと変化について、観察、実験 などを行い、土地のつくりについて、より実用な考えをつ くりだし、表現するなどして問題解決している。 [語] 土地のつくりと変化についての事物・現象に進んで関 わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとし ている。土地のつくりと変化について学んだことを学習 や生活に生かそうとしている。		
11-12	ア てこのはたらき (指導時間11～12月・10時間) 加える力や位置や大きさに着目して、これらの条件とてこの 働きとの関係を多面的に調べる活動を通して、てこの規 矩性についての理解を深め、観察、実験などに関する技能 を身に付けるとともに、主により実用な考えをつくりだし 方や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができ るようにする。 ●力を加える位置や力の大きさを変えら、てこを傾ける働 きがかわり、てこがわり合うときにはそれらの間に規矩性 があること。 ●てこの原理には、てこの規矩性を利用した道具があるこ と。 ●てこの規矩性について学習の中で、力を加える位置や 力の大きさとてこの働きとの関係について、より実用な考 えをつくりだし、表現すること。	[知・技] てこの規矩性について、観察、実験などの目的に応じて、 器具や機器などを選択して、正しく強いながら調べ、それ らの過程や得られた結果を適切に記録している。力を加 える位置や力の大きさを変えら、てこを傾ける働きにつ いて、てこがわり合うときにはそれらの間に規矩性あるこ を理解している。身の回りは、てこの規矩性を利用した 道具があることを理解している。 [思・判・表] てこの規矩性について、問題を思いだし、予想や仮説を基 に、解決の方法を着想し、表現するなどして問題解決して いる。てこの規矩性について、観察、実験などを行い、力 を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係につ いて、より実用な考えをつくりだし、表現するなどして問 題解決している。 [語] てこの規矩性についての事物・現象に進んで関わり、粘 り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。て この規矩性について学んだことを学習や生活に生かそうと している。てこの規矩性について学んだことを学習や生 活に生かそうとしている。		
1-2	10 私たちの生活と電気 (指導時間1～2月・10時間) 電気の量や働きに着目して、それらを多面的に調べる活動 を通して、電気の性質や働きについての理解を深め、観 察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主によ り実用な考えをつくりだし方や主体的に問題解決しよう とする態度を養うことができるようにする。 ●電気は、つくられたり蓄えたりすることができること。 ●電気は、光、音、熱、運動などに変換することができ ること。 ●身の回りは、電気の性質や働きを利用した道具があるこ と。 ●電気の性質や働きについて学習の中で、電気の量と働 きとの関係、発電や蓄電、電気の仕組みについて、より実 用な考えをつくりだし、表現すること。	[知・技] 電気は、蓄えることができることを理解している。電気は、 光、音、熱、運動などに変換することができ、こを理 解している。電気の性質や働きについて、観察、実験など の目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく強い ながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録し ている。身の回りは、電気の性質や働きを利用した道具が あることを理解している。 [思・判・表] 電気の性質や働きについて、問題を思いだし、予想や仮説 を基に、解決の方法を着想し、表現するなどして問題解 決している。電気の性質や働きについて、観察、実験など を行い、電気の量と働きとの関係について、より実用な考 えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 [語] 電気の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、 粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしてい る。電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活 に生かそうとしている。		
2-3	11 水がけの正しい地味環境 (指導時間2～3月・7時間) 生物と水、空気及び食・食物との関わりに着目して、それ らを多面的に調べる活動を通して、生物と持続可能な環境 との関わりについて理解を深め、観察、実験などに関する技 能を身に付けるとともに、主により実用な考えをつくりだ し方や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようする 態度を養うことができるようにする。 ●人は、環境と関わり、生きて生活していること。 ●生物と環境について学習の中で、生物と環境との関わり について、より実用な考えをつくりだし、表現すること。	[知・技] 生物と地味環境について、観察、実験などの目的に応 じて、器具や機器などを選択して、正しく強いながら調 べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。人 は、環境と関わり、生きて生活していることを理解してい る。 [思・判・表] 生物と地味環境について、観察、実験などを行い、得ら れた結果を基に考察する中で、生物と地味環境との関わり について、より実用な考えをつくりだし、表現するなど して問題解決している。 [語] 生物と地味環境についての事物・現象に進んで関わり、粘 り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 生物と地味環境について学んだことを学習や生活に生か そうとしている。		